

かやゆー(ヤングスキニー) インタビュー

hito hito koma
ひとひとこま

7月29日に開催した市民夏まつりで、凱旋弾き語りライブを行ったかやゆー(ヤングスキニー)。

ヤングスキニーは、SNSを通じてメンバーを募集し、2020年8月15日に結成。2023年2月8日にメジャーデビューシングル「らしく」を配信し、若者のリアルな思いを描くなど身長の歌詞で10代から支持を受けている4人組ロックバンド。その中の、ボーカル&ギターかやゆーは、生まれも育ちも富士吉田。中央区出身。

結成から3年足らずで、ROCK IN JAPAN FES 2023やSWEET LOVE SHOWER 2023など数々のフェスに出演し、この秋からは全国ツアーもスタートする。

そんな勢いに乗るかやゆーに迫る。

―市民夏まつりでの弾き語りライブはいかがでしたか？

普段は街を歩いていても、なかなか若い子にすれ違うことが少ない富士吉田で、夏まつりでは地元の若い子もいっぱい来ていましたけど、今回はそれ以上に県外からも大勢来てくれたので、ちょっと地元を盛り上げる手伝いが自分でもでき

たかなって思うと、自分でもライブをして楽しかったし、良かったなって思いました。

―楽曲を制作する中でコンセプトはありますか？

こういうのを作ろうかと自分で決めていくつもりはなく、前回出したアルバムのタイトルが「歌にしてみれば、どんなことでも許されると思っていた」ってある通り、SNSで自分の意見を発信すると、いろんな賛否両論が生まれるんですけど、それを全部メロディに乗せて歌にすれば、一つの曲として作品として芸術として受け入れられるのが音楽のいいところだと思ってるので、自分をいいようにみせようとかではなく、その時の自分の想いをただただ歌に乗せているだけです。

―今、ハマっているものはありますか？

本当にコロコロ変わるんですけど、今は「フジファブリック」にハマっています。それこそ夏まつりで「若者のすべて」を弾き語りして以来、ちゃんと聴いたら、響いてくる曲で、それから志村さんのライブ映像をずっとスマホで聴いています(笑)

―地元に対する思いや今後の目標を聞かせてください。

フジファブリックにハマっていることもあって、いつかスターとかじゃなく、地元の人にこういうバンドいるんだよって名前が挙げられるような人になれたらいいと思うし、自分の楽曲が5時のチャイムで流れたらいいなって思います。目標とか夢ってないんですけど、バンドとしては武道館に立ちたいって言っていますけど、僕の目標は、ふじさんホールでライブをしてフジファブリックの曲をカバールたいなって思いがあります。

インタビューの
詳しい様子はこちら

